

# PEACE HIRAKATA

JCI HIRAKATA PRESS  
2022.1 vol.55



枚方市長

新春特別対談

伏見 隆氏



2022年度  
LOMスローガン

『 Follow your passion 』

～目的意識を共有し、不変の志を追求しよう～

## CONTENTS

新年のご挨拶

2022年度 LOMスローガン紹介

新春対談

北大阪商工会議所 会頭 久門 哲男 氏

2022年度 委員会紹介

2021事業報告

シニアクラブ訪問記

第55代理事長 富田 典良 氏

JCI枚方とは?



Junior Chamber International Japan  
一般社団法人枚方青年会議所



Instagram → hirakatajc

JCI枚方 検索  
クリック!





# 新春特別対談

枚方市長

一般社団法人 枚方青年会議所 第62代理事長

## 伏見隆氏 × 松下明夫

**【はじめに】**  
松下理事長：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。公私とも忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。

伏見市長：新年明けましておめでとうございます。JCI枚方の皆さんの新たな体制での活動がいよいよ始まりますね。素晴らしい一年になりますことを心から願っております。本日は、よろしくお願いたします。

### 【創立60周年について】

松下理事長：本年9月22日に一般社団法人枚方青年会議所は創立60周年を迎えることになりました。枚方のよりよいまちづくりを目標に我々JCI枚方は20歳から40歳までの様々な職業のメンバーで構成されております。また、40歳で卒業するという条件のもとこれまで運動を展開しております。先輩から脈々と受け継がれてきた想いや理念を変えないことが大切だと考えており、60周年は「動的平衡」をキーワードに掲げております。地域になくてはならない組織であり続け、未来へとつなげるために活動していきたいと考えており、わがまちをより良くしていくという共通目標のなかで、私たち民間団体としての在り方があると思っておりますが、市長のお考えをお聞かせ下さい。よろしくお願いたします。

### 【伏見市長】

伏見市長：まず初めに、JCI枚方が創立60周年を迎えられたこと誠におめでとうございます。20歳から40歳までの若い世代の皆さんが、60年という長きにわたり、枚方市のまちづくり、地域の発展のために、これまで色々と力になっていただいたことに本当に感謝しております。これから、皆さんが先輩から引き継がれてきたJCIの精神に則り、まちの発展に力を貸していただきたいと思っております。

松下理事長の新たな体制の下、皆さんの個性や新たな展開が出てくると思っております。現在、社会全体で取り組んでいるSDGsの「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現

い」という理念は、公共の福祉を増進する地方自治体においても通じるものです。また、貧困・健康・福祉、教育、ジェンダー、環境といったSDGsのテーマは、本市のあらゆる施策と深くつながっており、本市も国際社会の一員としてSDGsの達成に向けさらなる取り組みを進める必要があります。そのため、本市では昨年7月にSDGsの取り組みについて方針を策定し、今後まちづくりの根幹にSDGsの浸透を図ってまいります。枚方市の小・中学校の子どもたちについては、現在、タブレットを一人一台に配備し、ICT教育に力を入れています。これをツールとして、子どもたちが自ら学び考え、意見をしっかりと伝えるよう成長し、社会に出てもらうという考えで取り組んでいます。そして2025年には、大阪・関西万博が開催され、テーマの1つに「快適、安全安心、持続可能性に取り込む万博」とあります。枚方市としても、食や健康、歴史や文化を掘り起こして楽しめるよう取り組むしていきたいと考えています。

松下理事長：私たちも2020年よりSDGsを推進しており、昨年子どもたちにもSDGsを知ってもらう取り組みを進めてきました。私たち青年が、将来のある未来の担い手に伝えていかなければなりません。時代の移り変わりが急速になっている状況で対応していくには、組織としての若返りも進めていく必要があると考えており、子どもたちだけではなく20代との関わりも深めていこうと思っています。

### 【地域との関わりについて】

松下理事長：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出制限や活動制限がかなり、他者とのコミュニケーションが希薄していると感じます。地域とそこに住まう人ひととの関わりを途絶えさせないためには、私たちJCI枚方メンバーが一丸となって取り組み、「産・学・官・民」の調和によって、枚方がより良いまちとなると考えております。今後の地域との関わり方、そして私たちJCI枚方の関わり方について市長のお考えや思いをお聞かせください。

という理念は、JCIの掲げる理念と共通する部分があり、SDGsの目標達成には、行政だけでなく民間事業者の参加が不可欠です。しかし、1社だけで達成できるものではないので、JCI枚方さんのような協力的体制ができれば、大きな役割を果たすことができるのではと期待するところではあります。

### 【松下理事長】

松下理事長：ありがとうございます。私たちJCI一枚方は、創立60周年のテーマを「創造」とし、スローガンとして「感謝と調和によって持続するまちの創造」を掲げさせていただきました。今日まで紡いできてくださった先輩諸氏への感謝と敬意を表し、この記念すべき年に輝かしい未来を創るためにも、時代に則した対応も加え、枚方の「まちづくり」と、その想いをつなぐための「人づくり」を実現してまいります。

### 【2022年度スローガンについて】

松下理事長：本年、一般社団法人枚方青年会議所は、「Follow your passion」の意識を共有し、不変の志を追求しよう」を掲げ、青年らしく積極果敢なチャレンジをまいります。私は2017年に入会し、短い期間の中で、要職を経験した自分自身は熱意と情熱だと気付きました。激動の時代だからこそ、より熱意や情熱を持って、明るい豊かな社会の実現を目指していきます。枚方市においては、だれもがあらゆる可能性にチャレンジできる「一人が主役のまち」を重点として8つの分野を掲げておられ、どのような枚方の未来像を描かれているのか等のお考えをお聞かせください。

伏見市長：JCI枚方の皆さんは、対応力と開発力があり、どのような状況であっても柔軟に対応され、2022年度も情熱をもって進んでいただけていると思っております。枚方市としては、まずは新型コロナウイルス感染症への対策です。長期間にわたり外出の自粛要請や休校・休業要請など日常生活で様々な制約があり、JCI枚方の皆さんを含めた市民の皆さんには、かなりの負担があったことと思っております。本市

伏見市長：地域での見守りや声かけなど地域での支え合いが益々重要になっていくなかで、地域の「つながり」の希薄化やボランティアなどの担い手不足を解消するためには、まずは住んでいる地域に関心を持ってもらうことが必要と考えています。40歳までの若い世代が集まるJCI枚方の皆さんには、特に若い世代の人たちに伝わるメッセージを出していただければと期待しています。また、様々な得意分野を持った多様な人がいると思うので、その一人ひとりが地域で何か役割を得て、やりがいを感ぜながら活動していただければと思います。

松下理事長：若い世代の人たちのお話を聞かせていただき、現在、様々な世代がいるなかで、高齢者も多くなっております。もちろん、その世代の方々との協働は大事ですが、それ以上に若者が少なくなっている現状を捉え、私たち自身も頑張っていかなければと自負しております。その部分を熨ぎつけるように若い世代に伝えていくことで、将来を見据えた取り組みにつながっていくのではと考えております。

【おわりに】  
松下理事長：新型コロナウイルスの影響が続き行動が制限され、人びとの活力が減少していき目の前が暗く閉ざされようとも、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、社会のため、地域のため、そして、そこに住む人びとのために希望をもち、社会の課題を解決できるよう行動する必要があると思います。今だからできること、今しかできないことは何かを常に追求し、大きな「志」をもって邁進し続けてまいります。本日はお忙しい中ありがとうございます。

伏見市長：コロナの影響により、これまで経験したことのない困難な状況

では、これまで国や府の支援に加え、本市独自の様々な支援を実施してきました。今後も社会機能の維持や経済的課題が克服できるよう、スピード感を持って様々な変化に柔軟に対応していかねばならないと考えています。人口減少や少子高齢化、経済成長という厳しい時代ですが、本市の未来像として先を見据えた持続可能なまちの姿を描く必要があります。本市の最重要課題である、枚方市駅周辺再整備については、20年、30年先の発展を目指し、枚方の魅力やまちの価値向上に向けてまちづくりを進めていきます。

また、持続可能なサービスを展開するには、行政の力だけで行うことは難しいので、ビジネスの仕組みを取り入れ、ビジネスが活発になるような枚方にしていきたいと考えており、JCI枚方さんとは、そのようなインフラづくりの環境を整えていくなかで提言していただきたいと思います。

### 【松下理事長】

松下理事長：本年度掲げている所信に「帰属意識」というフレーズを書かせていただいております。枚方市には約40万人の人びとが暮らしており、大阪のベッドタウンとして住みやすいまちだと思っております。このまちを好きになってくれる子どもたちが増え、将来的に枚方で就職したいと思ってもらえるような、楽しくなるような仕組みをつくり、帰属意識を醸成していきたいと考えております。

### 【持続可能なまちの創造について】

松下理事長：社会情勢が大きく変わっていくなか、枚方に住む人びとが枚方に住み続けたいと思えるようにするには、子どもたちが生き生きと育ち、安心・安全な老後生活を過ごすことができるような魅力的なまちを目指し、そのまちに住みたいと思える人が増えることで持続可能なまちにつながるのではないかと考えております。「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指すべき方向性と思いつく枚方の展望、取り組みについてお教えください。

伏見市長：SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」状況に陥りましたが、そのなかでもこの苦境を革新のチャンスと捉え、市民生活、行政サービス、企業経営など、改善された部分もたくさんあります。JCI枚方さんも創立60周年を迎えられ、この記念すべき年を契機として、今後ますますの地域での活躍を期待しています。市民の皆様や特に若者に向けて様々な発信をしていただければと思います。皆の元気がなくなっている状況ですが、市民が羽ばたけるような仕掛けをしていただけたらと期待しています。今後まちの発展について意見交換しながら、一緒にできることは共に進めさせていきたいと思います。本日はありがとうございます。

取材・記事：磯崎一雄 米田健人 池田玲実



2022年度 LOMスローガン

# 『 Follow your passion 』

～目的意識を共有し、不変の志を追求しよう～



一般社団法人枚方青年会議所  
第62代理事長  
**山下 明夫**

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は一般社団法人枚方青年会議所に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も引き続き旧日のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

昨年より引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、顔を合わせてコミュニケーションをとる機会が制限され、ビジネスの成り立ちや人びとの生活も目まぐるしく変化しました。激動の時代だからこそ、より熱意、情熱をもって明るい豊かな社会の実現を目指してまいります。

本年は「Follow your passion」～目的意識を共有し、不変の志を追求しよう～をスローガンに掲げ、熱意と情熱を胸に持続可能なまちの創造に向けて取り組んでまいります。また、本年当青年会議所は創立60周年という大きな節目を迎えます。先輩諸氏が長きにわたり紡いできた成果に感謝と敬意を表し、この記念すべき年に輝かしい未来を創るためにも、創始の精神を忘れることなく時代に則した対応も加え、わがまち、ひらかたの「まちづくり」と、その想いをつなぐための「一人づくり」を実践してまいります。これに伴い、記念式典および記念講演を開催いたします。記念式典においては、一般社団法人枚方青年会議所が設立された背景から現在に至るまでの歴史を振り返り、存在意義をあらためて見つめ直し、理解したうえで、今後10年を見据えた新たな一歩を踏み出します。今日までの感謝の気持ちを伝え、未来への布石とするためにも、一般社団法人枚方青年会議所からのメッセージを多くの方々に発信します。記念講演においては、「創造」をテーマに開催いたします。近年、急速に暮らしが高度・高質化していく時代を生き抜くうえで必要なのは、新しい価値を生み出していく「創造力」です。多様な人材が集う「社」枚方青年会議所メンバーと、枚方に住まう人びとが協働し、今日までの歴史を振り返りつつ新たな視野を広げ、未来へとつながる「ひらかた」を創造する事業を開催いたします。

最後に、創立60周年という節目の年、先輩諸氏が紡いできた情熱を絶やすことなく、個々の熱意を灯し、すべての人への感謝を忘れず不変の志を追求し、熱意溢れる個の価値の調和によって、持続可能な未来の実現に向けて突き進んでまいることをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## ▼LOMスローガン解説

「Follow your passion」～目的意識を共有し、不変の志を追求しよう～が今年のスローガンです。これは、私たち青年が目的意識をもち、受け継がれてきた情熱を絶やすことなく行動すれば、「明るい豊かな社会」を実現できるという思いを表しています。「熱意」「情熱」「志」をもって1年間の運動を進めていきたいと考えております。今年取り組む7つの柱です。

**情熱が溢れ志を共にする  
持続可能な組織の確立**  
当青年会議所の会員数は、全国においても多数の会員数を誇ります。私たちの運動の意義や目標を、情熱をもって伝える会員の拡大に注力します。

**他を知り己を知る  
多様な個の成長機会の創出**  
強い組織を築くには、「共通目標」「貢献意欲」「コミュニケーション」の3つが重要です。当青年会議所内だけでなく、海外も含めた他地域との交流を深め自己成長につなげていきます。

**持続可能なまちの魅力や創造  
帰属意識を醸成する人材育成の実践**  
近年、個々の価値基準に加え社会環境が大きく変化しております。また、人口減少等の問題もあるなかで、私たち自身もまちを構成する一員である当事者意識をもち、魅力溢れる持続可能なまちへの一助となる運動と、未来の担い手である子どもたちに居場所をつくり、心の成長につながる帰属意識を醸成します。



枚方青年会議所  
シニアクラブ代表幹事  
**平峯 由浩**

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は本年、枚方青年会議所シニアクラブ代表幹事を務めさせていただきます。昨年より新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、今年も活動や事業が出来ない場合もあるかと思いますが、年間、現役メンバーの応援をしていきたいと思っております。本年、一般社団法人枚方青年会議所は創立60周年を迎え、本日に記念すべき年となっております。先輩の諸先輩の情熱のもと、このクラブが立ち上がり、我々シニアクラブも現役時代を含めてこの周年に関われることを大変喜んでおります。長きに渡り地域社会においても活動が評価され、シニアクラブも今後も引き続きその一助になるよう、より一層協力、応援をして参りたいと思っております。

私たち枚方青年会議所シニアクラブも、年々新しいメンバーが入会され現在320名を超える大きな団体となりました。本年、枚方青年会議所シニアクラブの皆様には、現役で活動されていた時代に思いを巡らせて、一年間楽しんで頂きますよう今年度幹事の皆様と共に努めて参ります。

最後になりますが、松下理事長はじめ現役メンバーと共に一杯努めて参りますので、枚方青年会議所シニアクラブの皆様方には、活動へのご参加と一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

会員諸兄のご健勝と企業の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。どうぞ一年間宜しくお願い致します。

**故きを温ねて新しきを知る  
情熱が調和する協働運動の確立**  
わがまちの活性化の軸となるのは枚方フェスティバル協議会です。当青年会議所だけではなく、様々な団体が所属しており、枚方の文化・歴史・伝統を発信しています。また、毎年10万人もの参加者が集う「枚方まつり」は、歴史ある市民まつりであり、まちづくりや人づくりの一環として多くの経験を与えてくれる場となっております。今年も「産・学・官・民」が一体となり時代に則した開催方法を模索し実施につなげていきます。

**時代に則した効果的な運動発信  
厳格な規律を基盤とした組織運営**  
時代とともに様々な発信方法が増えているなか、私たちの運動を多くの人びとへ届けるために、伝えるだけではなく、伝わる運動発信に取り組めます。また、地域から信頼される組織として、透明性・健全性・遵法性を確保した運営から運動を展開してまいります。

**未来を指し示す  
持続と調和による創立60周年運動**  
当青年会議所は、創立60周年を迎えます。今日まで紡いできた成果に感謝と敬意を表し、輝かしい未来を創るためにも、時代に則した対応も加え、わがまち、ひらかたの「まちづくり」と、その想いをつなぐための「一人づくり」を実践してまいります。

**個の価値を磨く人材育成の実践**  
「数は力、質は強さ」と言います。数を増やすだけではなく、個の質を高め、今後、地域を支えるリーダーとなるためにも個々の成長が必要です。全国各地に拡がるネットワークを活かし、個々の成長機会を創出します。



# 本年もよろしくお祈りします!



一般社団法人枚方青年会議所  
直代理事長  
**花村 つよし**

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、枚方市の皆様、北大阪商工会議所をはじめとする各種団体の皆様、そして枚方青年会議所シニアクラブの先輩諸氏には、私どもの活動に対し深いご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

2021年度は「感謝」「謙虚」「寛容」青年の学び舎で成長を遂げ、わがまちへ「翔び立つ」というスローガンに掲げ、人の成長に主眼をおいたJC運動を展開いたしました。JCはまちづくりをすることのできるひとりひとりを標榜する団体であり、人材育成こそが地域開発の要諦であると考えております。

そうした観点から「JCカップU-11少年少女サッカー」枚方大会「枚方JC未来CUP」を開催し、サッカーと野球という2大メジャースポーツを通じた青少年健全育成に取り組み、勝つても負けても相手を感じることで、グッドルーパーの精神や、スポーツに励む環境をつくってこれている周りの人々への感謝の思いを育みました。

また、コロナに苦しむ商業に活力をもちたらず一助として、枚方市、北大阪商工会議所、枚方市商業連盟、枚方信用金庫、株式会社エフエムひらかた、枚方フーティといった数々の団体や企業を外部協力者として巻き込み、「ひらかたもつとセレクト」2021という枚方市内の企業や団体から自社の自慢の商品をエントリーして頂き、各種SNS上で一般市民の方専用投票フォームにて投票をしてもらうWEB型アワード事業を開催しました。

さらに、社会情勢を鑑み、史上初となる完全WEBでの「枚方まつり2021」を開催し、まつり当日のみではなく様々なコンテンツをYoutubeで配信し続け、全コンテンツの総再生回数は6万回に迫りました。今後、通常の対面開催が可能になったとしても、いつでも枚方まつりを体感することのできるツールとして、新たな可能性を切り拓く契機とすることができそうです。

枚方青年会議所は2022年度に創立60周年を迎え、理事長である山下明夫君のもと、歴史を紡いできていただいた先輩諸氏への感謝を忘れず、青年らしく情熱と智慧をもって明るい豊かな社会の実現に向けてメンバー一丸となって邁進します。

最後になりますが、旧年に賜ったご支援、ご厚情を引き続き2022年度も賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 2022年度 委員会紹介

<b>会員拡大委員会</b> 一枚岩の持続可能な組織とするために、仲間との共通意識をもってJCの魅力語り情熱溢れる会員拡大運動を実践します。	<b>創立60周年運営委員会</b> 創立60周年を迎える本年。「感謝」をスローガンとして掲げ、これまでの歴史を振り返り、未来へとつながる運動を展開します。
<b>会員交流委員会</b> 強い組織を築くために、「共通目標」「貢献意欲」「コミュニケーション」の3つを柱とした運動を進め、枠を超えた強い横軸を作り、友情を育みます。	<b>渉外交流委員会</b> 次世代のリーダーとしての成長機会を創出するために、世界各地で運動する同志とのつながりを強固にする交流を深めます。
<b>持続可能なまち創造委員会</b> 人びとが希望と生きがいをもって暮らせる持続可能なまちを創造するために、地域課題を自分ごととして捉えることの重要性を伝えます。	<b>帰属意識醸成委員会</b> 未来を担う子供たちに、未来図を思い描ける人材へと成長する機会を提供し、帰属意識を醸成する運動を展開します。
<b>枚方フェスティバル運営委員会</b> まちの活性化の軸となる枚方フェスティバル協議会を通じて、様々な団体と共に、枚方の「文化・歴史・伝統」を伝えます。	<b>枚方まつり構築委員会</b> 受け継がれてきた熱意、情熱、志をもとに、郷土愛を育むことができる歴史ある枚方まつりを開催します。
<b>JC運動発信委員会</b> 効果的にホームページやSNSを運用。広報誌「PEACE HIRAKATA」を発刊し、私たちの運動をお届けします。	<b>総務委員会</b> 組織の公益性や透明性への関心が深まるなか、運動や事業の礎となる多様性と柔軟性を兼ね備えた諸会議を設営・運営します。
<b>財政局兼事務局</b> 地域に根付く組織として、コンプライアンスの維持と公正な財務運営を明確にし、運営を支える事務局の庶務を効率的に行います。	<b>会員資質向上会議</b> 多様性が最大限に活かされる持続可能なまちにするために、個々の価値を高め、より良い変化を生み出せる人材育成に努めます。

## 一般社団法人枚方青年会議所は創立60周年を迎えます!

一般社団法人枚方青年会議所

・ 創立60周年スローガン「感謝 ～調和によって持続するまちの創造～」 ・

# 創立60周年

【記念式典】【開催日】 2022.9.22 (木) 【場所】 枚方市総合文化芸術センター本館

北大阪商工会議所 会頭

一般社団法人 枚方青年会議所 第62代理事長

# 久門 哲男 氏 × 松下 明夫



**〈創立60周年について〉**  
**松下 明夫** 理事長：本年、一般社団法人枚方青年会議所は創立60周年を迎えます。9月22日に枚方市総合文化芸術センターにて創立60周年式典を開催します。先輩から脈々と受け継がれてきた想いや理念を変えないことが大切だと考えており、地域になくてはならない組織であり続け、未来へとつなげるために活動していきたいと考えており、わがまちをより良くしていくという共通目標のなかで、長きにわたり地域に根付く、なくてはならない組織であり続けるためにはどのようなことが大切なのか、久門会頭のお考えをお聞かせ下さい。

**久門 会頭**：まず、枚方青年会議所の創立60周年おめでとうございます。青年経済人が集まり、地域奉仕団体として1962年に創立されて以来、枚方の特性を生かしたまち作りや、子供たちの育成など、地域に根差した幅広い活動を展開されてこられました。

かつては花火大会での大きな賑わいと集客、花火大会が安全性や担保の問題で中止になって以降は見るだけでなく、参加する市民参加型の祭りを目指して取り組んでこられました。枚方まつりは市民の心を一つにし、市民同士の絆を深め、町の愛着を育むイベントとして定着し、

**久門 会頭**：枚方青年会議所は基本方針として、「志の明かりを照らす」「絆、友情の確立」「情熱を持って志を伝播する」「信頼される組織」などを掲げておられますが、素晴らしい理念だと思います。

松下 理事長の今年のスローガンである「Follow your passion」目的意識を共有し、不変の志を追求しようという...

これはちょうど今の理念を、投影した良い言葉ですね。会社では経営理念というのは不変で、時代に応じて、目的は変わっても理念は変わらないものと考えています。

そういう意味では、このスローガンは本当に素晴らしいです。理念や目的をみんなの意識としていかに共有していくかというのが大事ですね。

**〈スローガンについて〉**  
**松下 明夫** 理事長：本年、一般社団法人枚方青年会議所は「Follow your passion」目的意識を共有し、不変の志を追求しようというを掲げ、青年らしく積極果敢なチャレンジをしてまいります。私は2017年に入会し、短い期間の中で、要職を経て自分の強みは熱意と情熱だと気付きました。激動の時代だからこそ、より熱意や情熱を持って、明るい豊かな社会の実現を目指していきます。枚方の明るい未来を思い描いて運動を展開していく中で、どのようなことを意識することが大切なのか、会頭のお考えをお聞かせ願えれば幸いです。

**〈地域経済について〉**  
**松下 明夫** 理事長：2020年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の感染者数は着実に減っていますが、最近では「オミクロン株」が発生しているなど、完全な終息の目処が立っていない状態です。その中で、オンラインを活用することが増えるなど、様々な動きが広まる契機となりましたが、飲食店など未だ影響を受け続けている状況です。今後の地域経済の見通し、また同様のことが起こった場合、早期に対応できることは何か、青年経済人として求められていることは何か、会頭のお考えをお聞かせいただければ幸いです。

**久門 会頭**：約2年間にわたるコロナ禍は私達の生活を一変させ、飲食店をはじめ、観光やイベントなど、地域産業を大きく押し下げた影響を与え、地域経済を疲弊させてきました。製造業でも部品不足や原材料高騰などで十分な生産ができていない事業者も少なくありません。自然災害とは異なるパンデミックの中で、ワクチンの普及など状況も落ち着いてきているものの、いまだに先行きが見えない不透明感で手探りの状態が続いております。

かつて経験がない状況下で、国や自治体の支援は不可欠。北大阪商工会議所としても、各種給付金や補助金の申請の相談や経営相談、職域ワクチン接種の実施などに取り組んでいきます。そうした厳しい状況にあっても、逆にコロナ禍の自粛期間を有効活用し、新しい製品や商品の開発に成功したり、事業の再構築に取り組み、実績を上げているところもあります。

大変な事態だが、大変大変と言っているだけでは、問題は解決しません。危機的なときこそ「ピンチはチャンス」という新しい思考での取り組みが必要だと思います。マイナス思考では不況から抜け出せない。新たなビジネスモデルを作ったり、ピンチのときだから、創業起業に踏み出したり、創業希望者が増えてくるのもその表れです。想定外とよく言われるが、今は自然災害や今回のパンデミックなど想定外のことならば起きる時代です。組織も会社も想定外のことを想定内として受け止め、毎日の危機管理能力を高めることが重要です。

**〈組織の在り方について〉**  
**松下 明夫** 理事長：新型コロナウイルス感染症の影響により、制限がかけられたこともありましたが、それと同時に新しい仕組みが確立されてきています。このような状況下においても青年経済人として、終息を待たずとも仕方がありません。昨年度から非対面でも会議ができるICTツールを活用するなど、一般社団法人枚方青年会議所独自の感染対策を実施するなど、ウィズコロナを見据えた会議スタイルを確立しています。しかし、まだまだ終息の見通しもつかず先の見えない状況にあります。今後、組織として新たな形式に柔軟に対応できるように必要なのは何か。久門会頭のお考えをお聞かせ願えれば幸いです。

**久門 会頭**：新型コロナウイルス感染症は、これまでの組織や会社のあり方を一変させました。メンバーや社員同士でもできるだけ接触しないよう自宅でのリモートワークやオンライン活用

**〈おわり〉**  
**松下 明夫** 理事長：新型コロナウイルス感染症の影響が続く行動が制限され、人々の活力が減少し、目の前が暗く閉ざされそうになったとしても、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら枚方のまちのために、そして枚方に住む人びとのために、まちの課題を解決できるような行動する必要があります。今だからこそ、今しかできないこととは何かを常に追求し、邁進し続けていきます。

取材・記事・写真：磯崎一雄 米田健人 池田玲美 岡林明子



**清水工業**  
 シーリング工事・防水工事・塗装工事  
 サイディング工事・総合リフォーム工事

代表 清水 健太

〒614-8374  
 京都府八幡市男山石城8-11

携帯電話・090-5134-7979  
 TEL/FAX・075-925-7597  
 E-mail・shimizu-kougyou@outlook.jp

代表 林 勇太  
 Yuta Hayashi

**Nexus**  
 〒576-0051 大阪府交野市倉治7丁目32-3 Bese 桜道102  
 TEL 072-896-8832  
 E-mail nexus.katano@gmail.com  
 HP sign-nexus.jp

**DAIKI**  
 一級建築士事務所

〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2  
 TEL:072-860-2811 / FAX:072-860-2812  
 mail:info@daiki-ltd.co.jp 担当：濱田



### 第3回 枚方JC未来CUP

少年野球を通じて他者を思いやる心を醸成し、未来のために積極的に行動する意識を持ってもらうことを目的として開催し、SDGsを取り入れた学びの機会を創出することができました。



### JCカップ U-11 少年少女サッカー大会

サッカーを通して、たとえ敗北したとしても潔く負けを認め勝者に対し賞賛をあたえることのできるグッドルーザーの精神、他者を慮る道徳心を養い、共生社会を牽引する人材の育成することを目的として、一般社団法人日本サッカー名蹴会 金田喜稔氏をお招きし、サッカークリニックを開催しました。



### 会員交流事業

会員同士の交流を深め、相互理解を深めることを目的として、枚方市内を散策しました。ゲーム性を持たせ協力しあいながら一つひとつの物事に取り組み普段希薄な関係のメンバーと苦楽を共にして交流を深めることができました。

# 2021年 事業報告

#### 2月度例会

長谷川穂積氏  
激変する社会情勢に対応できるチカラ  
「ニュースタンダード」  
～そのプロセスとロジックを学ぼう～



#### 3月度例会

千原せいじ氏  
異文化交流、はじめての第一歩  
～百聞は一見にしかず、まずは行動してみよう～



#### 4月度例会

佐久間智之氏  
「発信するだけじゃ意味がない」  
～相手に届く情報発信～



#### 5月度例会

Wマコト 中原 誠氏・中山 真氏  
「一致団結」  
～目的を達成するためには～



#### 7月度例会

戸村智恵氏  
「Withコロナ/Afterコロナに  
おけるNew Normalとは」



#### 9月度例会

狭土秀平氏  
「歴史・文化・伝統とは、  
守るだけなのか？」



#### 公開例会

共生社会の実現を目指して  
～未来の担い手のためにダイバーシティを学ぼう～  
守屋智敬氏・廣道 純氏・峰山和真氏



## 大阪ブロック協議会 褒章受賞事業



### 多子社会を創造するための事業

SDGs推進部門  
最優秀事業賞

子育て世代である私たちJCI枚方メンバー自身が少子高齢化問題の課題を主体的に捉え、変化を続ける社会に柔軟に対応できる考え方を学び成長することを目的とし、環境が変わりゆくなかで、生産年齢人口の減少と少子高齢化が進行する枚方において、子供を多く産み育てなくなる社会を形成し多子社会が地域や経済の成長につながっていくことへの意識を高めることができました。

### JAYCEE塾

強い「絆や友情」で結ばれた魅力溢れるJAYCEEへと成長し、新入会員に生まれる多くの「志」の灯が、これからのJCI枚方に「良循環」をもたらす、地域においても強いリーダーシップを発揮できる人財を育成することを目的として、1年間、新入会員に学びの機会を創出しました。

人材育成(対内)部門  
最優秀事業賞



地域活性化部門  
優秀事業賞

### ひらかたもっとセレクション

「ひらかたもっとセレクション2021」は、コロナ禍で経済活動が制限されるなかで、枚方の魅力をたくさんの人に知っていただき、枚方の皆さんへ何ができるのかを考え、企画したオンライン型事業です。企業や店舗に対してはWeb発信による宣伝広報の機会を創出し、市民に対しては今まで認知していなかった枚方の名産品を知る機会を提供することで購買活動を促し、地域の活性化につなげることができました。



### GYL育成事業

国際的な課題を理解し、他者を慮ることのできる人財へと成長することを目的として、ドキュメンタリー映画を上映し、監督であるフリージャーナリストの堀 潤氏と学生2名をお招きし、異文化を理解し、多様な見識を学び、国際的な視点を知ることができました。

国際交流部門  
優秀事業賞



在庫情報はコチラ  
オートローン取り扱い

あなたの為だけの車を探します!

Five A TEL072-861-0070  
〒573-0047 大阪府枚方市山之上4丁目7-14

株式会社本郷工務店

〒572-0835 大阪府寝屋川市日乃出町12-8  
TEL (072)800-4006 FAX (072)800-4005

Horiuchi.

行政書士 堀内法務事務所  
行政書士 堀内和輝

072-812-3543

大阪府寝屋川市本町6番10号  
本町栄ビル2階

# 一般社団法人枚方青年会議所(JCI枚方)とは

奉仕



修練



友情



まちづくりを通して自己の成長へ  
是非一緒に活動してみませんか？  
皆様の入会をお待ちしております！

## 青年会議所(JC)とは

青年会議所には、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

## 一般社団法人枚方青年会議所(JCI枚方)とは

1962年枚方青年会議所(枚方JC)は、全国で221番目に設立されました。以降約50年近く脈々と歴史を刻みながら、地域特性を活かしたまちづくりや子どもたちの育成、まつりなどの事業を通じて様々な運動を展開しております。一般社団法人枚方青年会議所(JCI枚方)には、約200名のメンバーが在籍しており各々が、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献しております。

PEACE HIRAKATA vol.55

アンケートにご協力ください！



## 【ヒラッカーを探せ！コーナー】

ヒラッカーがページのどこかに2ヶ所隠れています！隠し場所の正解はJCI枚方の公式HPをご覧ください(＾＾)！



## 一般社団法人枚方青年会議所 2022年度理事役員紹介 <http://hirakata-jc.jp/> JCI枚方

 理事長 松下 明夫	 直前理事長 花村 洋よし	 副理事長 片山 健	 副理事長 森本 泰博	 副理事長 松田 輝治	 副理事長 白石 和也	 専務理事 磯嶋 一雄	 議長 余田 圭二郎	 室長 岩川 雄介	 室長 清水 健太	 室長 林 勇太	 室長 薫 実穂	 室長 坪井 葵	 室長 米田 健人
 財政局長兼事務局長 佐藤 雪乃	 委員長 本郷 真司	 委員長 長田 侑子	 委員長 門川 紘幸	 委員長 新田 薫	 委員長 濱田 大輝	 委員長 細目 恭資	 委員長 日吉田 義弘	 委員長 谷 優太	 委員長 池田 玲実	 委員長 堀内 和輝	 監事 天兒 世一	 監事 新田 翔吾	

# シニアクラブ 訪問記

訪問した先輩  
第55代理事長

富田 典良 先輩

## 2015年度 スローガン

## 『Opportunity』

その一瞬を大切に 未来を拓く人財となれ！

「理事長をされていた時のLOMスローガンに込めた想いを教えてください」  
JCIという団体の一番素晴らしいところは、メンバーに等しく、様々な機会(Opportunity)を提供してくれる点だと思います。いわゆる「4つの機会」と言われるのですが、簡単に説明すると様々な人と知り合う機会や、普段関わらないことにも携わらせてもらえる機会、人として成長させていただける機会をJCIメンバーは一律に有しています。このような機会に触れ合うことができることがJCIの一番良いところであり、私は、理事長として、メンバーの皆さんにそれを感じてほしいと思い、LOMスローガンに想いを込めました。

「富田先輩が考えるこれからの枚方JCIに必要な人材とはどのような人でしょうか？」  
まず、どのような状況でも情報を取捨選択し、自分の頭でしっかりと考えることのできる人だと思います。そのために、JCIを自発的に活かし、学びを得ようとする人ですね。JCIには、様々な機会があり、その機会を有意義に活用することができ、その反面、流されるまま受動的に時間やお金を費やしてしまう危険もあります。JCIにおける機会を、JCIを卒業するまでの一瞬一瞬でしか得ることができません。JCIでいられるのは、JCI卒業までの期間しかありません。卒業までの時間を大切に、有意義に活用してもらえたら素晴らしいと思います。



## 【理事長当時(2015年)の主な事業】

- 5月 (一社)中村青年会議所との合同公開例会
- 6月~12月 高校生版みらいく
- 8月 枚方市長選公開討論会
- 9月 GYLトレーニングキャンプ
- 11月 世界遺産でプチ修行 in 高野山

「理事長時代に一番思い入れのある事業とかがありますか？」  
取材・記事・写真... 磯嶋 一雄 米田 健人 池田 玲実

私見では、まちづくり等に本格的に関わるのは卒業してからと思っています。現役の間は、様々な機会に触れ合うこととして成長して、人脈も増やし、仕事も大きくする。そして、青年経済人として成長後、家族や地域、国さらには世界に奉仕し、貢献することが、JCIの一番の存在意義ではないかと思っています。

「創立60周年を迎えるメンバーに一言お願いします」  
創設60周年を迎えるうえで、なぜ60周年記念式典や事業を実施するのか、自分たちで実施する意義と目的を考えて進んで欲しいですね。周年事業以外の事業もそうですが、意義や目的、さらには事業を実施する楽しみを自分なりに考えて、それを基盤に事業を創り上げ進めた方が、達成感や学びが得られると思います。それを前提に、現役メンバーの皆さんに一言伝えるとしたら、「皆さん、JCIを楽しみながら頑張ってください！」です。

## 日本鮮魚 JAPAN FRESH FISH

・イズミヤ交野本店 ・トナリエ南千里 吹田店  
・アプロ藤井寺店 ・トナリエ大和高田内 奈良店  
・JAファーマーズへぐり内 生駒店

本部事務所  
大阪府交野市私部西1-11-5 HIKO荻番館305号室  
TEL 072-845-4619 FAX 072-845-4620  
株式会社日本シーマート 代表取締役 森本 泰博

## JOB SECURITY & CONSTRUCTION

株式会社JOB警備保障  
株式会社ジョブ建設

代表取締役 米田 勉  
〒573-1178 枚方市渚西1丁目22番10号  
警備:072-840-6300 建設:072-840-8086  
<https://job-k.jp>

## 憧れを、カタチに

リフォーム リノベーション

・ご相談 無料  
・お見積り 無料

072-808-8980  
ayasho.jp

AYASHO

# 看板

設計・製作・施工・デザイン・申請代行  
のぼり・ちょうちん・ステッカー・電飾・箱文字  
その他相談 無料で承ります！

株式会社 松田工芸社  
TEL.072-847-5251

## あいる保険コンサルティング株式会社

【事業内容】  
保険代理店事業 レンタカー事業 自動車買取事業

【取扱保険会社】  
東京海上日動火災保険株式会社  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社  
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〒573-0023 大阪府枚方市東田室1丁目3番21号 西本ビル5階  
TEL: 072-841-0550  
FAX: 072-841-0551 E-MAIL: 072-844-5192  
E-mail: info@airuhoken.co.jp  
WEB: <http://airuhoken.co.jp/>

## 株式会社Blessing

結婚したくなったら

Tel:072-807-8358

大阪府枚方市町楠葉1-12-6-2F  
info@m-blessing.co.jp



JCI枚方

検索  
クリック!



**松下建創 株式会社**  
MATSUSHITA KENSO Inc.

営業品目 雨漏り修理／防水工事／外壁工事／  
住まいのお困り解消／メンテナンス

573-0014 大阪府枚方市村野高見台9-86  
TEL 072-395-0492  
FAX 072-395-0493  
MAIL info@matsushitakenso.co.jp



大阪府知事許可(般-3)第156104号 web

かかりつけの“いしや”ありますか?  
お墓を建てる時に絶対に守らなければならない  
**枚方石材 5つの約束**

- 一つ、たとえ不利な情報であっても、全てお客様へお伝えします
- 一つ、すべて正直に仕事に取り組みます
- 一つ、しつこい営業はいたしません
- 一つ、あなたのお墓を“かかりつけの石屋”として守り続けていきます
- 一つ、わたくしどもは自分の子どもたちに誇れるお墓は建てません!!

枚方産業振興株式会社 枚方石材/枚方生花  
ご相談・お問合せはコチラ! ★卒業生への花束も承ります!  
**072-848-1234** 枚方石材 検索



損害保険・生命保険の代理店  
**共保商事株式会社**

AFP  
2級ファイナンシャル・プランニング技能士  
個人資産相談業務

**荒木亮輔**  
〒570-0038  
守口市河原町12番2号 小林ビル4階  
TEL(06)4250-5020 FAX(06)4250-5022  
e-mail kyohos.1949feb.12@isis.ocn.ne.jp

株式会社 **片山モータース**  
日産チェリー枚方中央販売株式会社

代表取締役 **片山 健**

〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目7-8  
TEL(072)857-1500  
FAX(072)857-1400  
web:http://www.katayama-motors.com/

建築・内装軽鉄・内装仕上工事



**株式会社 創信**  
SOUSHIN

大阪府建設許可(特-30)第99738号  
〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3  
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594

職人がこだわって作る  
「旨い」「安定した」「長持ちする」麺づくり

**繁盛する麺**

三友や食品工業株式会社  
大阪府枚方市長尾家田町1-7-1  
072-867-0039(代)

電気・空調・防災設備 設計・施工  
**磯嶋電工株式会社**  
大阪府知事許可(般-30)第150197号

〒573-0104  
大阪府枚方市長尾播磨谷1-2806-4  
Tel : 072-896-5806  
Fax : 072-896-5807  
Mail : info@iso-den.com



ナガタセイサクシヨ  
代表/グラフィックデザイナー  
**長田 侑子**

572-0080  
大阪府寝屋川市香里北之町8-24 N 302  
TEL 090-7487-4945  
MAIL nagataseisakusho.111@gmail.com



YUKO NAGATA

寿司・鮮魚  
**魚和水産**

UOKAZU SUISAN 国産  
産地直送よってって 枚方北山店舗内  
鮮魚は何でもご相談ください!  
**別注受付中**  
大阪府枚方市北山 1-23-1  
TEL 072-855-0357



**株式会社 柿丸建設**  
代表取締役 柿丸 裕

大阪府枚方市長尾北町1-1794-5  
TEL (072) -867-8288

